

季刊
SAY 和

[せいわ]

医療法人 誠和会

倉敷記念病院
倉敷第一病院
介護老人保健施設 福寿荘
有料老人ホーム せいわ
誠和会在宅センター
グループホーム コージー
小規模多機能 和

ワンポイントリハビリ

今回のテーマ 「腰部痛予防ストレッチ」

○誠和会ニュース・地域交流イベント

12/18 (土) 院内保育所(ファミレウタ)「クリスマス会」

1/4 (火) 令和3年度永年勤続表彰式

12月・1月 各施設の行事

福寿荘 インスタグラム始めました

特集

医療法人 誠和会

「生活支援・介護予防、介護・医療、住まい…

住み慣れた地域で あなたらしい暮らしを支援します

あなたと家族をお手伝い ケアマネジャーへご相談を」

医療法人 誠和会

部署紹介 医療事務部 医療秘書課

伝い ケアマネジャーへご相談を」特集



生活支援・介護予防、介護・医療、住まい・・・

住み慣れた地域で あなたらしい暮らしを支援します

あなたと家族をお手伝い ケアマネジャーへご相談を

倉敷市倉敷西高齢者 支援センター (倉敷市業務委託)

■高齢者支援センターとは(図1)

高齢者が住み慣れた地域で生活していく上での総合相談の窓口です。高齢者が可能な限り地域において自立した生活を送れるよう、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが中心の「高齢者支援センター」が介護だけでなく、保健・医療福祉に関する総合的な支援を行います。



■高齢者支援センターの主な仕事

- 一人ひとりに合った医療・介護・福祉のサービスを利用できるように連絡調整等を行います。
- 要介護状態が軽度の方要支援1・2や要介護状態になるおそれのある方が必要な介護サービスを受けられるよう介護予防プランを作成します。
- 高齢者に対する虐待への対応や成年後見制度の利用などに必要な援助を行います。
- 要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者のご自宅を個別に訪問し心身の状況及び家族等の状況の調

査をするにとともに支援または、要介護状態になるおそれのある高齢者へ介護予防及び生活支援を行うております。(実態把握調査)

■活動紹介

《小地域ケア会議》

住民の顔が見える、身近な暮らしのエリアにおいて、住民と専門職が、福祉のまちづくりに向けて、話し合い、学び合い、早期発見・対応、連携し合う場であり、この積み重ねによって、地域の福祉力をさらに高めるための会議

《認知症サポーター養成講座》



たかく見守り、支援するサポーターを増やし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをしています。

《通いの場》

倉敷市では高齢化社会への対応が大きな課題となっており「二人ひとりの居場所づくり」を元気な地域のキーワードに



「自分も地域も元気なまち」を目指し住み慣れた地域で安心して暮らせる社会への取り組みとして「通いの場」を地域の方を中心に立ち上げています。

倉敷西高齢者支援センターでも様々な「通いの場」を取り組んでいます。
・介護予防教室・介護者教室・栄養教室・100歳体操・転倒骨折予防教室・喫茶オレンジ(認知症カフェ)など(現在は残念ながらコロナ禍であり開催できていない事があります。)



100歳体操サロン



栄養教室



転倒骨折予防教室

《お助け隊》

中島地区社協を中心に「中島お助け隊」が立ち上がっています。高齢者の方が地域の中で安心して暮らせるようにお助け隊の隊員が「ちょっとした困りごと」をお手伝いします。
(主に草取りやゴミ出しのお手伝いをしています。)

せいわ介護サービスセンター

せいわ介護サービスセンターの対象となるのは介護保険で「要介護1〜5」の認定を受けた方です。倉敷市の指定を受けて、介護保険のサービス利用全般について相談に応じる事業所で、幅広い知識を持った介護支援専門員(ケアマネジャー)を配置しており、ご利用者様が可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう、ご利用者様の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成します。

プランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、介護サービス事業者との連絡・調整を行います。また入院時における医療機関との連携、退院時や施設入所から在宅生活に復帰する時にも医療機関や介護保険施設との連携により退院後、在宅生活に向けた連携を図り、スムーズな在宅復帰につながるように調整します。



主に草取りやゴミ出しのお手伝いをしています



■ケアマネジャー業務の流れ

- ① 居宅介護支援利用の申し込み受付(ケアプラン作成を依頼される)
 - ② 介護認定の確認(認定を受けていない場合は申請代行)
 - ③ ご利用者・ご家族へ情報提供(ニーズに沿った介護サービス事業所等)
 - ④ 居宅介護支援事業所との契約
 - ⑤ ご利用者の状態把握(アセスメント)
 - ⑥ ケアプランの作成
 - ⑦ ご利用者・ご家族・多職種によるサービス担当者会議の開催
 - ⑧ ご利用者・ご家族への説明と同意の確認 ⇒ **ケアプランの交付**
 - ⑨ 計画実施状況の把握(モニタリング評価)
- ⑤から⑧までは「ケアプランに沿って各種在宅サービスの開始」のフェーズに属します。

サービス開始後、少なくとも月1回の訪問を行い、身体状況やサービス利用状況の確認を行います。ご利用者様の状態が変わったり、サービス変更の希望があれば見直しを行い、⑤ご利用者の状態把握(アセスメント)の手順へ戻り、⑥ケアプランの作成を再度行っていきます。

■その他業務

- ・ケアプラン等入力業務や電話によるご利用者・ご家族サービス事業所からの相談・報告に対応しています。
- ・毎朝申し送りや事例検討などを行い、毎週木曜日には「サービス提供にあたっての留意事項に係る目的とした会議」を開催しています。

■こんなことに困ったら...

・他法人が運営する居宅介護支援事業所と、日頃の業務の相談、ケアマネージャー同士で意見交換や勉強会を開催しています。
 ・多岐にわたる専門職との連携に必要な知識を総合的に高め、コーディネーターとしての実務的な能力を備えるとともに、専門性の維持、向上を継続的に行為に誠和会内外問わず研修を積極的に受け、ケアマネージャーの資質向上に努めています。

介護保険を使ってベッドや車いすが使えるのかしら

一人暮らしの実家のお母さんが最近家事が出来なくなってきたみたい。心配だわ...

入院前とは全然状態が違う…。このまま連れ帰って大丈夫なのかしら？

日中は仕事や学校で家族皆留守だし、その間認知症のお父さんを一人にしておくのは心配だわ...



まず心配なことがありましたらご相談下さい。困ったこと、心配なことをどう解決したら良いのか一緒に考えます。

・介護保険を利用する為には65歳以上の方は要介護(要支援)認定申請を市役所に提出する必要があります。(40歳から64歳までの方は特定疾病が原因で介護が必要になったときに申請できます。)

「せいわ介護サービスセンター」では、要介護(要支援)申請代行ができます。申請代行は高齢者支援センター・市役所介護保険課・介護保険施設でも受け付けします。入院中の方は病院のケースワーカーにご相談下さい。

認定の流れ ①申請する⇒②認定調査士主治医意見書⇒③審査・判定⇒認定一通知

居宅介護支援事業所：せいわ介護サービスセンターでは要介護1～5の判定がでた方が対象となります。

小規模多機能居宅介護和

■小規模多機能居宅介護 和は

一般的な介護サービスは、居宅介護支援事業所のケアマネージャーが「通い・デイサービス」や「訪問・訪問介護」「泊り・ショートステイ」から必要なものを選択し、契約するという形ですが、一方、小規模多機能型居宅介護では利用者の容態や希望、状況に応じて柔軟にサービスが受けられます。

たとえば、介護者の急な体調不良で介護に対応できなくなった際には、早急に短期入所できる施設を探する必要があります。施設を探す手間がかかるだけでなく、最悪のケースでは施設の空きがなく入所不可となってしまうでしょう。しかし小規模多機能型居宅介護であれば泊りサービスを活用し、突発的な状況にも柔軟に対応できます。

■ケアマネ業務

- ・ケアプランの作成
 - ・利用者さまやご家族の相談対応
 - ・ケアプランのモニタリング
 - ・要介護認定の申請手続き
 - ・サービス内容の調整 など
- 特にご家族との関わりが深いことが、小規模



多機能型居宅介護の特徴とも言えます。
■サービスを「買」してご提供できます

小規模多機能の基盤は在宅であり、在宅サービスでどう支援していくかが鍵です。何をすることが現状の改善に繋がるのか密に相談しながら解決に導いていきます。小規模多機能の1つの事業所で、サービスを「買」してご提供できるので他事業者の対応を待つことなく進められるため、ご利用者に早く対応できます。

最後に

〜住み慣れた地域で

安心して暮らせるために

倉敷西高齢者支援センター 課長 佐野 めぐみ

現在、在宅で生活している高齢者が抱えている問題も多様化してきています。そこに「コロナ」感染を懸念する自粛生活。人との交流が図れず、活動量も減る生活が続くとフレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームと呼ばれる状況に陥り身体面での悩みや物忘れが気になることが増えてきたという声をよく聞きます。在宅生活を支援する私たちにとって生活を支えるために必要なケアマネジメントを行います。その中で、介護保険制度だけではなかなか生活を支えることができない現状にぶつかります。

個の抱える問題だけではなく、地域の課題を考える事で地域の力によって立ち上がっている社会資源も現在はたくさんあります。地域の社会資源を活用し関係機関との密な連携によりネットワークを作り自助・公助・互助・共助を大切にしています。高齢者の方々が住み慣れた地域でその方らしい暮らしを介護予防から最期まで支援できるように私たちがその一助になれるよう日々業務に努める事を心がけています。

その方に必要な生活の支援を一緒に考えている地域の相談窓口として役割を担っています。お気軽にいつでもご相談いただけたらと思います。

今回のテーマ「腰部痛予防ストレッチ」

外出自粛で身体を動かす機会が減っている方、運動機会の減少は廃用症候群という様々な症状を引き起こす可能性があります。運動量が不足していて、腰が痛くなっていませんか?今回は腰部痛予防のストレッチを紹介します。

腰部痛予防ストレッチのやり方

①腰のストレッチ



足を反対側に倒して腰をストレッチします。
硬くなった腰をストレッチすることで、血流がよくなり痛みの軽減につながります。

②膝上げ



お腹周りの筋肉を鍛えます。腹筋が弱いと、身体を支えるのに腰の筋肉を過剰に使ってしまうため、腰痛が発生しやすいです。腹筋を鍛えることで、腰の負担軽減が期待できます。

☆自宅で簡単に行える運動で不活動から起こる腰痛を予防しましょう。

医療秘書課は、医師が患者さんによりよい医療を効率よく、安全に提供することができるようサポートをする部署です。「適確、迅速、笑顔」をモットーに、「医師が患者さんと直接向き合う時間を確保する」ことを目標に、書類作成や診療記録への記載代行を中心に取り組んでいます。またその他にも医療に携わる多くの職種が、患者さんにより良いコミュニケーションを築けるよう、潤滑油の様な役割を担っています。縁の下の力持ちとなれるよう、これからも日々頑張っていきたいと思えます。

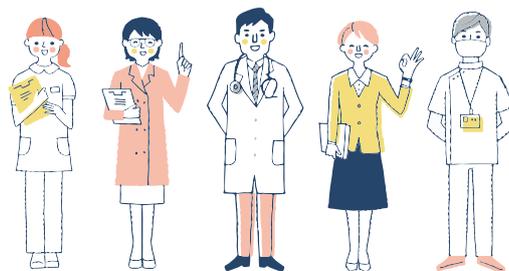
なお、当院では令和4年3月時点で医師事務作業補助体制加算2(50対1)を算定しており、医療秘書2名を医師事務作業補助者として届出しています。



医療秘書課の業務

- 診断書等の書類作成補助
- 電子カルテへの代行入力
- スケジュール調整・管理
- 診療部会の準備・議事録の作成
- 医局の環境整備

その他、医師のサポートに関わる業務を幅広く行っています。



誠和会ニュース・地域交流イベント

2021年12月18日(土)

院内保育所(ファミレウタ)「クリスマス会」

院内保育所(ファミレウタ)にて「クリスマス会」が開催されました。サンタクロースが登場し、ひとりひとりにプレゼントが手渡され、園児たちは喜んでいました。



2022年1月4日(火)

令和3年度永年勤続表彰式

令和3年度永年勤続表彰式(法人の部)を行いました。勤続20年が6名、25年が3名、30年が2名、35年が2名、計13名の方々が受賞されました。受賞者代表がよるこびの挨拶と抱負を述べ、小出理事長より表彰状と記念品が贈られました。おめでとうございます。



12月・1月 各施設の行事

福寿荘

12月 クラブ活動

書道クラブでは、12月を感じ、想像していただける言葉を書いて頂き、干支の話などで盛り上がりました。絵手紙クラブでは、トラの絵に模様を描き、年賀状風の絵手紙を作りました。



有料老人ホームせいわ

1月 初詣とぜんざい作り

お正月に手作りの鳥居をラウンジに設置し、今年1年が良い年になるよう皆でお祈りしました。また、おぜんざいを作っておやつに食べていただきました。皆さん美味しそうに召し上がられました。



コージー

1月 書初め

グリーン棟の1月の行事では書初めを書きました。「1月と言えば?」という問いかけに、「そりゃ初日の出じゃ」と言う方と「お正月」と言われる方と様々でした。



和

1月 なごみ神社

コロナ禍でこちらからお参りに行けないので、なごみ神様が来てくださいました。お参りされた利用者様に幸福を呼んでいました。



福寿荘 インスタグラム始めました

この度、介護老人保健施設福寿荘でインスタグラムの公式アカウントを開設しました。荘内の情報を発信していきますので是非アカウントの「フォロー」や「いいね」をお願いします。





「足もとから姿勢が変わる…」 そんな治療機器が当院にはあります!

2019年度より、当院リハビリテーション部にLOFEアーチサポートを導入しています。全国的に見ても、LOFEアーチサポートを導入している病院や施設はほとんどありません。

LOFEアーチサポートは、体の土台である足の形を整えると同時に、足の裏からの適切な感覚入力を促し、中枢神経系を介して、無意識な姿勢調整を可能にします。リハビリテーション治療の現場では、浮き趾の改善、立っている姿勢やバランスの改善、歩行速度の改善といった効果が得られています。



当院リハビリテーション部では、足の矯正を行う「中敷き」とは区別し、「脳機能賦活装具」と名付け、先端リハ機器として位置付けています。そして、LOFEアーチサポートを用いたリハビリテーション治療を確立するため、LOFEチームが存在し、適応となる症例・臨床効果・標準的な治療法を検討しています。

詳細は当院ホームページのリハビリテーション部特設サイトをご覧ください。

リハビリテーション部 中村愛己・沖 由弥

中止の お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえまして、健康づくり教室・糖尿病教室の開催を、当面の間中止いたします。楽しみにしておられる皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。再開の折には、改めてお知らせいたします。

医療法人 誠和会 倉敷記念病院は、患者さまの権利を確認し尊重します。

患者さまの権利

患者さまには

1. 十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」あるいは「受けない」という選択をする権利があります。
2. 自分の診療情報および個人情報を保護される権利があります。
3. いかなる状況においても人間の尊厳を尊重されて、その生を全うする権利があります。
4. いかなる差別もなく、平等な医療・看護を受ける権利があります。
5. 自ら受けている診療について、情報の提供を受ける権利があります。
6. 医療費の明細、医療費の公的援助について、その情報を受ける権利があります。

編集後記

過ごしやすい季節がきましたが、皆様体調に気を付けてお過ごしください。新年度も様々な情報をお届け出来るよう頑張ります。

広報委員 上森

倉敷記念病院 診療担当表(2022.4.1改訂)

診療時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00(土曜は午前のみ) (初診受付) 平日:16:30(内科は11:30)まで / 土曜:11:30まで

電話予約の受付時間 月~金:8:30~17:00 土:8:30~11:00

診察予約の取得・変更・取消はこちらまで。

☎086-465-0011

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
総合内科 (予約外)	当番医		当番医		当番医		当番医		当番医		当番医
内科 (予約)	櫻井	矢野	小出	三宅	矢野	林	吉田潤	林	櫻井	吉田潤	矢野(第1・3)
	林	三宅	西本						三宅(第3・5)	林	矢野
						三宅(第2・4)					川崎医大 富山(第1・3・5)
脂肪肝外来											
脳卒中・生活習慣病外来							長尾				
脳神経内科	安田		安田				安田	安田	安田		安田
物忘れ外来										安田	
整形外科	川崎医大 河本 日野		川崎医大 佐藤 日野	日野	日野		日野		日野	日野	日野
			伊勢 (リハ室)					平岡 (VF)			
耳鼻咽喉科	森田	森田	森田	嚥下外来 (手術)	森田	森田	手術	嚥下外来 (手術)	森田	嚥下外来	森田
眼科			川崎医大				楠				
腎・泌尿器科	岡大 鵜川	岡大 鵜川					門田	門田			
皮膚科		澤田	澤田	澤田	澤田	澤田	澤田		澤田	澤田	澤田
訪問診療	櫻井・小出・林・仁科・澤木(医師が定期的に訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談、指導等をいたします。)										

※状況により変更する場合がありますのでご了承ください。※祝日、年末年始(12/30午後~1/3)は休診です。

医療法人 誠和会 倉敷記念病院 〒710-0803 岡山県倉敷市中島831 TEL:086-465-0011 FAX:086-465-9199
倉敷第一病院 〒710-0826 岡山県倉敷市老松町5-3-10 TEL:086-424-1000 FAX:086-421-4254

介護老人保健施設 福寿荘・有料老人ホーム せいわ・誠和会在宅センター・グループホーム コージー・小規模多機能 和

バス(両備バスを利用)

JR倉敷駅バス停 水島方面行き②番のりば
「四十瀬・小溝経由」乗車で約10分 ⇒
「穴場神社・倉敷記念病院前」下車

お車

- ・国道429号線(旧国道2号線)中島交差点を水島方面へ600m
- ・国道2号線バイパス側道の中島南交差点を北へ200m

鉄道(水島臨海鉄道を利用)

JR倉敷駅より水島方面行きで約8分 ⇒
2つめの『西富井駅』下車 ⇒ 徒歩約5分



わが街健康プロジェクトの
共催病院として参加しています



晴れやかネット

晴れやかネット
(医療情報ネットワーク岡山)の
開示・閲覧病院です